

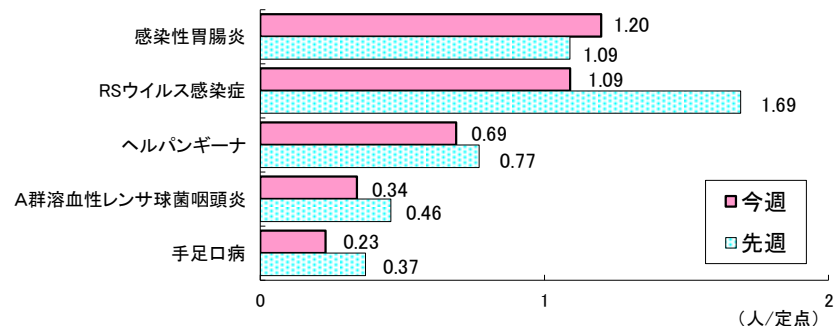


【第39週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で10%増加しています。保健所別では、秋田市、能代、秋田中央、大仙、横手で増加、由利本荘で同規模、大館、北秋田、湯沢で減少しています。
2. RSウイルス感染症は、県全体で36%減少しています。保健所別では、秋田市で増加、大仙と同規模、大館、能代、秋田中央、由利本荘、横手、湯沢で減少しています。
3. ヘルパンギーナは、県全体で10%減少しています。保健所別では、秋田市、大館、秋田中央で増加、由利本荘、大仙、横手で同規模、北秋田、能代、湯沢で減少しています。

秋田県の定点医療機関における主要5疾患の発生規模



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減			
RSウイルス感染症	1.69	1.09	↘	1.29	2.29	↗	1.00	0.50	↘				1.33		↘	1.00	0.75	↘	1.25	0.25	↘	0.50	0.50		7.00	3.33	↘	2.50	1.00	↘
インフルエンザ		0.04	↗					0.14	↗																0.20	↗				
咽頭結膜熱	0.14		↘				0.75		↘							0.50		↘												
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.46	0.34	↘	1.29	0.86	↘										0.75	0.75					0.25	0.25		0.33		↘	0.50	0.50	
感染性胃腸炎	1.09	1.20	↗	1.57	2.00	↗	1.25	1.00	↘	1.50	0.50	↘	1.67	2.00	↗	1.00	1.25	↗	0.75	0.75		0.25	1.00	↗	0.33	1.33	↗	1.25	0.25	↘
水痘	0.03	0.14	↗	0.14	0.57	↗																							0.25	↗
手足口病	0.37	0.23	↘	0.14		↘								1.00	↗		0.25	↗	2.50	0.75	↘	0.50		↘						
伝染性紅斑		0.03	↗					0.25	↗																					
突発性発しん	0.14	0.14			0.29	↗		0.50	↗	1.00		↘				0.50		↘				0.25		↘					0.25	↗
ヘルパンギーナ	0.77	0.69	↘	0.43	1.00	↗	0.25	0.75	↗	2.00	0.50	↘	0.67		↘		0.25	↗	1.00	1.00		0.25	0.25		1.33	1.33		2.00	0.75	↘
流行性耳下腺炎																														
川崎病																														
急性出血性結膜炎							*	*		*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎	0.14		↘	0.33		↘				*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	2.25	2.13	↘							6.00	5.00	↘	2.00	5.00	↗	*	*						3.00	↗	1.00		↘	9.00	4.00	↘
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、大館保健所管内から2人、報告されました。
- ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が秋田市保健所管内から4人、大館保健所管内から1人、湯沢保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のE型肝炎が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の梅毒が横手保健所管内から2人、百日咳が秋田市保健所管内から3人、横手保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-38週		39週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンコ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	15660	91	3
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ	3		
	細菌性赤痢	117	1	
	腸管出血性大腸菌感染症	3117	36	6
	腸チフス	22		
	パラチフス	17		
	E型肝炎	324	2	1
四類	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	765		
	エキノコックス症	9		
	黄熱			
	オウム病	5		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	5		
	キャサヌル森林病			
	Q熱	3		
	狂犬病			
	コクジオイデス症	2		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	62		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎	1		
炭疽				

(人)

類型	疾患名	1週-38週		39週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱	3		
	つつが虫病	98	4	
	デング熱	130		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	193		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	3		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	2		
	マラリア	38		
野兔病				
ライム病	9	1		
リッサウイルス感染症				
リフトバレー熱				
類鼻疽	2			
レジオネラ症	1440	4		
レプトスピラ症	14			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	604	1	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	168	2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1472	8	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	38		
	急性脳炎	507	6	
	クリプトスポリジウム症	11		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	153	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	517	5	
	後天性免疫不全症候群	946		
	ジアルジア症	55	1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	354	3	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	28		
	侵襲性肺炎球菌感染症	2406	13	
	水痘(入院例に限る)	315	5	
	先天性風しん症候群			
	梅毒	4935	11	2
	播種性クリプトコックス症	134	1	
	破傷風	84		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	55		
百日咳	6571	29	4	
風しん	770	1		
麻しん	209			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	16			

トピック

<梅毒が増加しています>

梅毒は、梅毒トレポネーマという細菌が原因で、主に性行為によって感染します。全国では今年、第38週までに4,935件の報告があり、感染症法に基づく調査で最多であった平成29年の患者数に届く発生状況となっています(表)。秋田県でも第39週までに近年では最多の13件の梅毒患者の報告がありました。妊娠中の女性が梅毒に感染すると、死産や早産、新生児死亡、奇形が起こることがありますので(先天梅毒)、特に注意が必要です。

■症状

顕性梅毒のステージ別の症状は次のとおりです。

・早期(Ⅰ期)

感染して約3週間の潜伏期の後に、感染部位に硬いしこり(初期硬結)や潰瘍(硬性下疳:こうせいげかん)がみられます。これらの症状は主に陰部に現れ、2~3週間で消退します。

・早期(Ⅱ期)

その後約3ヶ月を経過すると病原体が血流にのって全身へ広がり、性器以外の皮膚や粘膜にも発疹等の症状が現れます。

・無症候期

早期と晩期の間に症状が消える期間があります。

・晩期

感染してから3年以上経過すると、ゴム腫・心血管症状・神経症状などが出現する場合があります。現在では、早期から抗生剤による治療を開始する例が多く、晩期顕性梅毒に進行することはまれです。

■検査や治療について

梅毒に感染したかどうかは医師の診察と、血液検査(抗体検査)で判断します。梅毒は、早期に抗菌薬による治療を開始すれば確実に治る感染症です。感染が少しでも疑われる場合は早めに泌尿器科・皮膚科・産婦人科等の医療機関を受診しましょう。治癒後に再び感染することもありますので、感染が判明したらパートナーに必ず打ち明け、同時に治療を受けて感染を繰り返さないことが大切です。

表 梅毒の患者報告数(件)

年(平成)	全国	秋田県
21年	691	4
22年	621	5
23年	827	5
24年	875	6
25年	1,228	2
26年	1,661	2
27年	2,690	3
28年	4,575	9
29年	5,820	8
30年*	4,935	13

*全国は第38週、秋田県は第39週現在

感染症の集団発生報告

かぜ様症状の集団発生報告が1件ありました。

発生届出日 平成30年9月27日
 受付保健所 横手保健所
 施設名称 横手興生病院
 有症者数 利用者53名のうち27名
 職員22名中5名 計32名
 把握期間 9月1日から9月27日まで



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大湯村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		